



会議レポート

2002年（第2回） 全九州半導体技術フォーラム

情報処理学会の後援による、2002年（第2回）全九州半導体技術フォーラムが、2月14日にホテルオークラ福岡にて開催された。このフォーラムは、半導体産業が集積するシリコンアイランド九州において、企業、大学、研究機関等が一同に会し、それぞれの取り組みを多面的に紹介することに重点をおいたフォーラムであり、今回で第2回を数える。構成は、基調講演1件、招待講演2件、プレゼンテーション5件、ポスターセッション55件で、参加者は九州だけにとどまらず、全国各地から500名を超え、大きな盛り上がりを見せた。「シリコンアイランド九州の新たな挑戦」を大いにアピールできるものとなった。

今回のフォーラムでは、九州経済産業局長、福岡県知事みずからの開会挨拶があり、半導体産業への支援は行政側からも強力的に進められていることが伺えた。

特に福岡県知事からは、九州のみならずアジア（韓国、上海、台湾、香港、シンガポール等を結ぶ半導体生産のベルト地帯）地域を含む「シリコンシーベルト（Silicon Sea Belt）」における、開発拠点として県を発展させたいという、「シリコンシーベルト福岡」*1プロジェクトの構想についての話があった。

基調講演では、福岡県のシステムLSI設計開発拠点化に対する具体的な取り組みについての講演が行われた。この取り組みについて、次の大きな3つの目標がある。

- (1) 300人/年の設計人材育成
- (2) 50テーマ/年の産官学連携プロジェクト実施
- (3) 5カ年で500のベンチャー企業創出

これらの取り組みの目玉として、福岡県産業・科学技術振興財団が事務局となつて、「福岡システムLSIカレッジ」が昨年開校された。これは全国で初めて産官学が一体となつて設立したシステムLSI技術者養成の機関である。このような人材育成への取り組みは全国的にも稀なもので、あらゆる方面から関心が寄せられている。それには、他にもいくつか理由がある。まず講師陣の充実が挙げられる。14大学5企業からなるその道のキャリアを積んだ25名の講師陣による協力を得ている。また独自に開発した教材・教科書を使い、実習を主体とした、システムLSI技術者の育成に取り組んでいる。このため、受講者に大きな支持を得られている。またこれらの取り組みにより、福岡ソフトリサーチパーク内の機関よりシステムLSIの製品化が行われ、成果を挙げている。興味のある方は、一度「福岡システムLSIカレッジ」で講座を受講することをお勧めする*2。

招待講演では、(株)リアルビジョン・杉山氏のLSIベンチャーの戦略についての講演が行われ、これが報告者の強く興味を引かれた講義内容であった。講演では、ビデオカメラの価格構成が、おおよそ本体20万円、

ボード2万円, チップ2000円になっていることが述べられ, どこが一番企業収益を求めることができるか, という問題が提起された. 本体・チップは, 現在の電機メーカーの経営状況を見れば明らかなように収益率はあまり期待できない. つまり, ボードのOEM販売でビジネスすることが, ビッグベンチャー企業を創出するチャンスだと述べていた. 電機メーカーに在籍する報告者にとって, 深く考えさせられる問題である.

プレゼンテーションでは, 設計分野, 製造分野からそれぞれ発表があった. 九州大学より「システムLSI設計とシリコンシーベルト」の取り組みにおいて, 昨年, 九州大学内にシステムLSIに関係する5研究部門が連携して発足した, 「システムLSI研究センター」*3の取り組みについて発表があった. また, 北九州市立大学より「北九州市におけるシステムLSI研究・開発・設計の取り組み」について発表があった. 昨年, 北九州市には北九州学術研究都市が設立され, そこには3つの大学キャンパスと, 半導体関連企業9社が進出しており, これらの連携によりシリコンバレーをターゲットとした都市計画が始まっている. 計画によると, 5年後には3000人程度の半導体技術者が, この研究都市に在するということである. その他にも, 九州各地の半導体に関する取り組みについてのプレゼンテーションが行われた. 講演の様子を図-1に示す.

最後には, 交流会とポスターセッションが併せて実施され, 九州地方独特(アルコール?)のリラックスした雰囲気, 各界の交流が盛んに行われていた.

以前から, 九州はシリコンアイランドと呼ばれ, 半導体関係の企業は多く九州に進出していたが, 設計者の人数となるとあまり多くなかった. これらの問題解決のために, 産官学が互いに協力し, またアジア地域



図-1 (写真提供: 福岡県産業・科学技術振興財団)

をも巻き込んで発展させようとするところが興味深い. 今後もこのような会合が開かれ, またシリコンシーベルトからの参加者も募り, シリコンシーベルトや九州地域が一体となり, 企業, 大学, 研究機関等における半導体関連の研究開発が活性化されることを期待する.

*1 <URL:http://www.ist.or.jp/lsi/>
*2 <URL:http://www.ist.or.jp/lsi-college/>
*3 <URL:http://www.slrc.kyushu-u.ac.jp/>

(松田昭信/九州松下電器)